

公共交通を維持していくために



月形当別線「とべ～る号」

JR 札沼線に代わる公共交通として、令和2年4月から代替バスが運行しています。

町民の皆さんは既にかわいらしいキャラクターがラッピングされたバスをご覧になったことがあると思います。中には、乗ったことのある方もいると思いますが、まだ乗ったことのない方や乗り方がよくわからないという方のため改めてバスの乗り方などについてお知らせします。

また、今回は公共交通の果たす役割や実際に利用している方の声などについてもお伝えします。

■札幌市へお出かけ

(札幌市内→月形駅→北海道医療大学駅→札幌)

①バスに乗って出発

札幌市内から乗車し、月形駅へ
【7:45 発 月形浦臼線】



②月形駅で乗り換え

月形駅で当別行きバスへ乗り換え
【8:00 着 月形浦臼線】
【8:10 発 月形当別線】

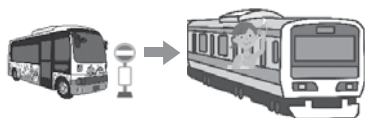


200円
を支払い、
乗継券
を受け取る

③JRへ乗り換えて札幌へ

医療大学駅で札幌行きJRへ乗り換え
【8:44 着 月形当別線】
【8:59 発 JR 札沼線】
【9:46 着 札幌駅】

200円
と
乗継券で
支払う



■町内移動

(札幌市内→町立病院・友人宅→帰宅)

①バスに乗って出発

札幌市内から乗車し、町立病院へ
【10:05 発 月形浦臼線】



②町立病院に到着

町立病院前で降車し、病院で診察
【10:18 着 月形浦臼線】

乗車料金は
200円



11:30 診察終了。これから友人と食事。
沢山おしゃべりしたいし、買い物もしたいけど…。



③帰りはどうする？

もう少しおしゃべりしてから帰ろう

ついでに買い物もしてから帰ろう

急用が出来たから急いで帰ろう

13:05 発 (月形役場) の代替バスをご利用ください

14:38 発 (町民サロン) のスクールバスをご利用ください

はーとハイヤーをご利用ください



今回は、皆さんからよく問い合わせのある2つの乗り方をご紹介します。1つは公共交通を使って町内を移動する乗り方、そしてもう1つは札幌市に行くため、代替バスを乗り継いでJRを利用する乗り方を紹介します。



月形町内で上手に公共交通に乗ってみよう！



鈴木 麻里さん
(南札比内3)

新富から月形温泉まで、主に通勤で代替バスを利用しています。

バスのおかげで助かっています

バスとJRを比較すると、JRでは札比内から北農場まで木々に囲まれ景観が良かったです。一方、バスだと座席の乗り心地が良く、車内は静かですし、またWiFiがあるので便利です！もう少し便数が多いとさらに嬉しいですね。

車を買うよりもバスに乗った方が、維持費などが無く家計に助かっています。また、冬道の運転もないため安心・安全に移動できると他の利用者とも話しています。

以前、観光客の方が乗車していたので、コロナ禍でなければ、利用者も増えるかもしれませんね。

公共交通でたくさんさんのいいこと

▼多数の乗降場

町内の公共交通の利点のひとつは、乗降場が多数あることです。例えば代替バスのバス停では、月形町内には17カ所あり、JRに比べ町内に乗降場が広く点在しています。JRが通っていたときよりも乗降場の選択肢が増えたことで、利便性が向上しています。

▼健康の増進

通勤や買い物などの移動手段を公共交通にすることで、歩く機会が増えます。歩くことにより、自家用車での移動よりも多くのカロリーを消費し、運動不足にも役立ちます。

▼安全性

バスはプロの運転手が運転するため安全性も高く、自分で運転する場

合の疲労がありません。特に雪が降る日や凍結した路面など危険な冬道の運転を回避できます。

▼環境にやさしい

自家用車で移動するよりも、1人あたりの輸送におけるCO₂（二酸化炭素）の排出量が少なく、公共交通を利用することにより、環境への負荷を軽減できます。

▼家計にやさしい

代替バスの町内移動は1回200円です。一方、自家用車では、車両の購入費をはじめ車検代や保険、税金、燃料代、その他消耗品など維持費が年間約40万円と言われており、バスを2000回乗ることができ

ます。便利さで勝るのは自動車ですが、バスの方が経済的と言えます。

生活の足を未来に残そう

バスの利用者が減少し、運賃収入が少なくなると、運行の維持が困難となり、減便や廃止を検討しなければなりません。減便や廃止が行われると、公共交通のサービスは低下し、さらに利用者が減少する悪循環に陥ってしまいます。

自動車も高齢者や子どもたちなどにとって、バスは生活に必要な「足」です。月形町

▼月形浦白線「かぼと〜る号」




では高齢化率が進み、今後自動車を運転しない方が増えてくること

公共交通がなくなっていることがないようにしなければなりません。1人でも多くの人が、1回でも多く利用していただくことが大切です。まずは、買い物に行くときなど普段の生活の中でバスに乗ってみてはいかがでしょう。町民一丸となって、生活の足を守る取り組みを行っていきましょう。

※新型コロナウイルス感染症対策について

公共交通機関では、車内の換気や消毒、運転手のマスク着用・検温など新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。

利用される皆さんも感染症対策を実践し、乗車してください。

公共交通に関する問合せ先
企画振興課地域振興係  53

乗り合いハイヤー やっています



郊外部を対象とした新たな地域交通を検討するため1月から3月の冬期間で、乗り合いハイヤーの実証運行を行っています。

乗り合いハイヤーの実証運行は今回で最後となりますので、是非、利用してみてください。

■利用するには…？

- ①利用登録申請を役場に提出します
- ②申請後、はーとハイヤー (53・2088) へ予約をします
- ③予約後、利用前日の16:00～17:00の間にはーとハイヤーから確認の電話がきます
- ④予約完了です

※一部市街地の方は利用できません

■料金は…？

- ①片道1人400円です
- ②小学生以下は保護者同伴のうえ、無料で乗車できます

■便数は…？

- | | |
|-------|-------|
| 行き～1便 | 9:30 |
| 2便 | 10:30 |
| 帰り～3便 | 12:00 |
| 4便 | 13:00 |

■目的地は…？

町内の公共施設9カ所